中津干潟アカデミア 2018

annual report 2018

平成30年度報告

学生発表

中津の海の絵コンテスト表彰

中津干潟の味コーナー

NPO法人 水辺に遊ぶ会

Nakatsu Waterfront Conservation Association

活動レポート
Activity report 2018

2018年度は、春にひがたのお祭り第2回「ガタフェス」、夏休みは、ひがたらぼで「夏休みワークショップ」と大学とコラボした「オープンラボ」を開催しました。「中津の海の絵コンテスト」には多数の応募を頂きました。今年は新たに「アカニシ染めワークショップ」を開催。昨年度から始めた干潟の研究者達と市民が交流する「中津干潟アカデミア」も盛会でした。これらの活動は今後も継続して取り組みたいと考えています。

夏休み干潟観察会

アカニシ染めワークショップ

山国川オサカナ観察会

夏休みオープンラボ

ベッコウトンボ保全活動

1．自然に関する理解を深めるための啓発活動

自然観察会：5回　参加者：324名
　ベッコウトンボ観察会・ガタフェス・山国川おサカナ観察会・夏休み干潟観察会・ズグロカモメと冬鳥観察会
その他主催行事：32回　参加者：815名
　中津の海の絵コンテスト・ひがたらぼ夏休みワークショップ(23日)・アカデミアオープンラボ(ぎょぎょ魚大作戦・ベントス調査探検隊・ドローン飛ばして調べよう)・ひがたかふぇ
環境学習のサポート：52回　参加者：2,718名
　中津市：北部小学校・豊田小学校・小楠小学校・如水小学校・今津小学校・沖代小学校・三郷小学校・豊陽中学校・県立工科短期大学・東九州短期大学
　市　外：長峰小学校・天津小学校・三毛門小学校・吉富小学校・宇島小学校・宇佐北部中学校・日本文理大学・九州大学
　その他：中津市社会教育講座・中津市社会福祉協議会・日田市立博物館・香々地青少年の家・ＴＯＳ海と日本プロジェクト・宇部環境コミュニティ他
中津干潟アカデミア第2回研究発表会　参加者：150名

2．調査研究活動

主体調査：カブトガニ・シギチドリ類・ガンカモ類・ベントス・ベッコウトンボ・ＲＤＢ見直し・アライグマ・漁場塩分濃度・地形他
調査研究への協力：下関水産大学校・日本文理大学・九州大学・大分大学・群馬大学・東京海洋大学校・法政大学

3．海岸清掃他環境美化や廃棄物問題に関する活動

ビーチクリーン：大新田海岸3回　三百間海岸：1回　参加者755名
　回収ゴミ：1,610kg（可燃：929kg・不燃271kg・粗大410kg）
　対象区域：約18,000㎡
松林再生：作業のべ28日　参加者：274名
　他団体への指導：小楠小学校・東中津中学校・県立工科短期大学
海ごみ学習用小冊子「つながる海みんなの自然」制作（大分県委託）

4．ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動

主催行事：帝王紫ワークショップ・かざり海苔巻き教室2回・ベタ料理教室　参加者104名
他団体との行事：如水保育園（アカニシ染め）
　大分大学都甲研究室（大分の色ワークショップ）

5．自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信

会報誌「ガタガタ通信」3回発行
annual　report　2017　発行
HP管理運営
イベント出展：今津校区わいわいまつり・TOTOリモデルフェア

6．民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など

ベッコウトンボ生息池整備作業　参加者40名
五十石川等流域会議・舞手川河口侵食対策・ベッコウトンボ保全に関する検討

7．持続可能な社会を追求するためのその他の事業

ひがたらぼ運営・商品販売（カブトガニサブレ・海苔）

会計レポート
Financial report 2018

前年度に2つの大型助成金が終了し、今年度は財源の確保が急務でした。そのような中で大分県発注の海ゴミ学習用冊子の委託業務や調査委託事業の受注により今年度末の正味財産はプラスとなりました。助成金以外の収入源を確保することができた点では、健全な経営に一歩踏み出した形ですが、会員の減少、寄付の伸び悩みなど抱える課題は多く残されています。活動への理解を広げるための広報活動などさらなる努力が求められています。

活動計算書 (2018.4.1～2019.3.31)

Ⅰ 経常収益	
1. 受取会費	**368,500**
2. 受取寄附金	**697,502**
3. 受取助成金等	**2,688,659**
4. 事業収益	**4,647,325**
①自然に関する理解を深めるための啓発活動	316,800
②調査研究活動	1,381,900
③海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する活動	2,327,403
④ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動	67,600
⑤自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信	0
⑥民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など	0
⑦持続可能な社会を追究するためのその他の事業	553,622
5. その他収益（受取利息・雑収入）	**70**
経常収益計	**8,402,056**
Ⅱ 経常費用	
1. 事業費	**6,879,041**
①自然に関する理解を深めるための啓発活動	1,816,811
②調査研究活動	1,300,419
③海岸清掃ほか環境美化や廃棄物問題に関する活動	2,394,425
④ブルーツーリズムなどの地域振興を推進する活動	494,064
⑤自然環境に関する情報の収集・蓄積・発信	15,695
⑥民間及び公共団体の環境に関する事業に対する支援・提言など	39,943
⑦持続可能な社会を追究するためのその他の事業	817,684
2. 管理費	**752,615**
（1）人件費	317,905
（2）その他費用	434,710
経常費用計	**7,631,565**
Ⅲ 経常外収益	
過年度損益修正益（前年度収益）	31,371
経常外費用計	**31,371**
Ⅲ 経常外費用	
過年度損益修正損（前年度損失）	25,900
経常外費用計	**25,900**
税引き前当期正味財産増減額	775,871
法人税、住民税及び事業税	71,000
当期正味財産増減額	**704,871**
前期繰越正味財産額	**2,095,650**
次期繰越正味財産額	**2,800,521**

貸借対照表 (2019.3.31現在)

Ⅰ 資産の部	
1 流動資産	**4,149,059**
現金預金	1,637,807
未収金	2,171,034
前払金	252,518
棚卸資産	87,700
2 固定資産	**0**
資産合計	**4,149,059**
Ⅱ 負債の部	
1 流動負債	**1,348,538**
短期借入金	1,000,000
未払金	264,074
前受金	17,500
預り金	66,964
2 固定負債	**0**
負債合計	**1,348,538**
Ⅲ 正味財産の部	
前期繰越正味財産	**2,095,650**
当期正味財産増加額	**704,871**
正味財産合計	**2,800,521**

補助金・助成金一覧

TOTO水環境基金	**950000**
大分県森と海をつなぐ環境保全推進事業	**150,000**
大分県水産物流通加工総合対策事業	**150,000**
SAVE JPAN PROJECT	**308,797**
九州ろうきん	**150,000**
大分県森林環境保全事業	**280,200**
国土交通省河川協力団体	**471,834**

寄　付

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	**300,000**

（単位：円）

大分県水産物流通加工総合対策事業（2018）
「帝王紫ワークショップ」アカニシ染め

大分県の魚食推進事業の助成を受けて、中津干潟で一定の漁獲高がある巻き貝“アカニシ”を使い7月末に「帝王紫ワークショップ」を行いました。参加費を当会としては高額な3,500円としましたが、募集開始まもなく定員となりました。二千年以上も前から伝わる貝の分泌物を使って布を染める技法を体験しつつ和洋のアカニシ料理に舌鼓を打つこの催しは、想像以上に関心が高く、季節の行事として定着させられる可能性が見えてきました。よって今後も継続的な行事として開催してくことといたしました。

大分県 地域を担うNPO協働モデル創出事業（2018）
「海ごみ学習用冊子制作委託業務」

19年間にわたるビーチクリーンの活動実績や海ごみ問題の草分けであるJEANとの交流、小･中学校、高校、大学における海ごみ学習会の実施実績、調査研究活動などが評価され、2018年度は児童向けの「海ごみ学習用冊子」を制作させていただきました。14,700部を作成し、大分県内の小学校5年生全員に配布された他、多くの自治体などと問い合わせをいただくなど高い評価を得ています。当会のミッションの実現に大きな力となることが期待されることはもちろん、会に眠る潜在的価値の力が発揮された事例となりました。

走りながら考えた20年

一人の人間がこの世に生を受け大人になるまでの時間が20年といわれます。水辺に遊ぶ会も創立してから20年の歳月が流れました。“生きもの元気、子どもも元気、漁師さんも元気な中津干潟を100年後も…。”をスローガンに、走りながら考える日々が風のように過ぎて今ここに立っています。

会を立ち上げるきっかけは、開発などのために全国で失われてしまったはずの自然を見つけてしてしまったことでした。かつては日本の各地で普通に見られた生きものたち、今ではほとんど失われてしまった生きものたちが雄々しく生き残っているのを見つけてしまったのです。私たちが暮らすこの中津の海で。

この事実をともかく多くの人に知ってもらいたい、その価値に気づいてもらいたいと目の前の遠浅の海に「中津干潟」と名付け、干潟を知り、親しみ、保全する試みを行ってきました。

年4回のビーチクリーン、学校出前授業、自然観察会の開催、中津干潟レポート等の調査・研究、大学等の研究補助、ササヒビの再生、漁業振興のお手伝い、大新田松林の整備と浜遠足の復活等など数えればきりがありません。その内容は、自然環境だけでなく、歴史、文化、経済など地域のアイデンティティや生活に関わる分野にまで広がりました。

その間、会員の皆様をはじめ本当に多くの協力者の方々に支えられてきました。いっしょに笑ったり汗をかいたりの日々でした。時には地域や行政関係の方々と対話したり議論を戦わせたりしながら会のミッション達成のための試みを行ってきました。

私たちの使命（ミッション）は、豊かな“中津干潟を100年後も…。”です。次の時代に生きる子ども達にこの財産を残すことです。そのためには何らかの保護の枠組みの中に中津干潟を組み込む必要があります。その実現こそが真の第一歩となるはずです。

問題の本質は実にシンプルで、目の前の豊かな自然を自分たちの世代で使い切ってしまうのか、それとも、私たちの子どもや孫、子孫たちのために残し、使い続けるのかということです。短期的な経済価値だけでなく持続的に利用していくことの価値を私たちはもっと深く考える必要がある思うのです。

活動をはじめて20年。私たちが“大人”になれたかどうか分かりませんが、ミッション実現のためにこれからも走り続け考え続けていきます。皆様とともに。

仲間を増やす年に

2018年度の会費収入が、全体（正会員、一般会員、特別会員）で前年より8%減少しました。中でも一般会員様が3割近くの減少となってしまいました。会を力強く支えたいとお考えの特別会員様（1万円会費）は徐々に増えているのですが、広くご支援いただいている一般会員様が急激に減ってしまいました。

会員の輪を広げることは、単に活動資金のためということではなく、より多くの方々に支持をいただくという意味を持っています。そのためには、まだ私たちの活動を知らない方々に共感していただけるための努力が求められます。スタッフ一丸となって仲間作りに励むのはもちろんですが、会員皆様のお力をお借りできたら大変ありがたいです。私たちの活動にご理解を頂けましたら是非、周りの方々にも水辺に遊ぶ会をご紹介いただけないでしょうか。よろしくお願いいたします。

NPO法人 水辺に遊ぶ会

〒871-0024 大分県中津市中央町2-8-35
TEL･FAX 0979-77-4396（ひがたらぼ）
E-mail：info@mizubeniasobukai.org
URL：http://mizubeniasobukai.org/

中津ネイチャーセンター
ひがたらぼ

〒871-0006
大分県中津市東浜1151-4
TEL・FAX 0979-77-4396
開館時間 10:00～16:00
休館日 土日祝日

水辺に遊ぶ会の活動は皆様の会費・ご寄付によって支えられています。ご支援ご協力お願いいたします。

●カブトガニコース（一般会員）

・年会費　1,500 円

年４回発行の「ガタガタ通信」と「行事案内」をお届けします。

●ズグロカモメコース（サポーター会員）

・1 口　10,000 円　特典付

「ガタガタ通信」「行事案内」に加え、年度末に中津干潟の産物や関連グッズなどのプレゼントをお届けします。

【ゆうちょ銀行もしくは　郵便局でお手続きの場合】

振替口座：01760－0－134110
名　　義：NPO 法人 水辺に遊ぶ会

お名前・ご住所・電話番号・E-mail 等を明記の上、お振り込みをお願いします。